

会社は万全の対策を

相次ぐ事故・災害 一歩間違えば重大災害に

転落災害

二月二十六日には、旧四山鉱六
百メートル三御ポンプ座付近でボ
ンブ点検のために立坑の階段を降
りている時、足を踏みはずして六
メートル下に落下し、両足を骨折
する事故が発生しました。付近に
はだれも居らないため、誘導無線
の配線があるところまで自力で這
って出て救援を求めたのですが、
一人作業の危険性が指摘されてい
ます。

出水事故

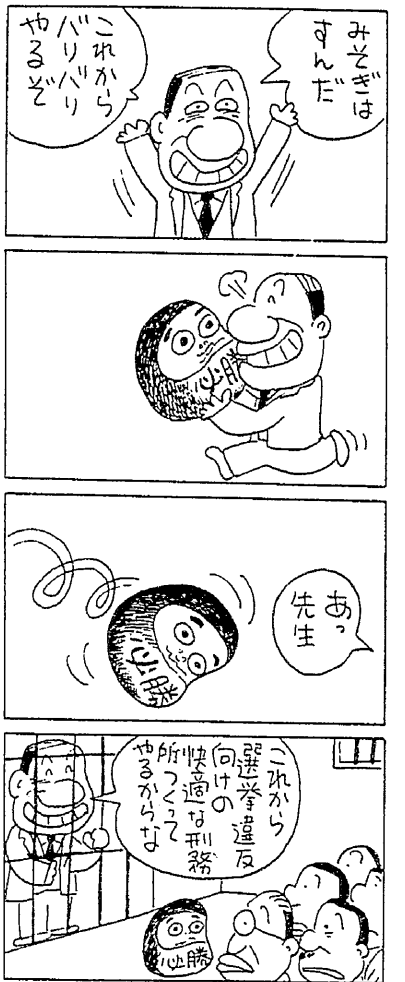
三月一日(二月二十八日三番方
と一番方の交替時)の四百二十
メートル坑道二御座で、掘跡の天
井が崩落して大量の出水があり、
掘面のMHPの先端カッパが水没
するまでに水位が上がり、二十一
五キロワットのポンプ数台を増設
る、三百五十五メートル坑道二十五
目付近で三十四人が乗っている
昇坑人車に二十六トン大型電車
(重運・炭車三十輜連結)が衝突
を避けようとしたさいに接触、人車
が三輜脱輪しましたが幸い負傷者
はありませんでした。しかし、こ
の事故は一歩間違えば重大災害に
なっていました。

列車事故

二月二十四日午前六時五十分
ころ、三百五十五メートル坑道二十五
目付近で三十四人が乗っている
昇坑人車に二十六トン大型電車
(重運・炭車三十輜連結)が衝突
を避けようとしたさいに接触、人車
が三輜脱輪しましたが幸い負傷者
はありませんでした。しかし、こ
の事故は一歩間違えば重大災害に
なっていました。

つながる内容をもつものです。

あほだら



時のこぼれ

じん肺訴訟

じん肺は、炭鉱や鉱山、建設現
場などで粉じんを大量に吸い込む
ことにより発生する職業病。肺組
織が硬くなり、呼吸困難で悶死し
たり自殺する人も多いのが特徴で
す。治療法はなく、病状が悪化し、
死に至る病と呼ばれています。
現在、全国で三十六カ所、約千百
人の原告が企業責任などを訴えて
裁判の焦点でした。

統一行事のお知らせ

前号でお知らせしました行事
計画の詳細は次のとおりです。集
合 午前8時15分
と き 3月25日(日) 出発 午前8時30分
と ころ 天草・小松屋旅館 帰着 午後6時15分頃
(大天野町柳橋) ◎最終の実行委員会は十五日



姿見

六十歳定年の職場を五十五歳
で退職した。
主人は一年八カ月前に、すで
に定年退職していたので、むし
ろ私がこのまま勤務を続けるこ
との方が家が家にとっては好都合
だったのだが……。

年齢が増すことに、事務に精
通しているとは判断されるのか、
はびきりで、最後の一年は悲鳴に
なっています。

女の定年

三池分会 米村朝子

仕事の量は増えることはあつて
も減ることはなかった。体力の
衰えも著しく、視力の低下もあ
つて、若い時のように仕事もテ
レも近い音をあげた。それが果た
るまで、家事をみてくれて
いた姑も八十歳を迎え、膝の故
障で歩行困難となったので、い
つまでも姑に負担をかけられな
いと思ひ、退職を踏み切った。
このことも、私が退職を決意し
た大きな理由の一つでもある。
これは五十歳を過ぎたころか

『みいけ』

三池退職者の会が出版

三池退職者の会では、三池開
返して三周年を記念して、『みい
け』(三池開返三十年を振り返
り)を出版しました。アン
ケートを中心にして、生の声が
聞かれます。A5版八十六
ページ。会員向
けですが、希望
者には千円でお
わけするつもり
です。お問い合わせ
せは、同会事務
局(三池労組)
まで。

月足さんが個展

三池退職者の会三池支部長の月
足康則さん(元大牟田市議員)
が、三月二十一日から二十六日
まで松屋地下ギャラリーで十号から
百号までの油絵四十二点を集めて
個展を開きます。

囲碁愛好会が 総会と大会開く

三池労組囲碁愛好会は三月十一
日午前九時から総会を開き会長
あいさつ、経過報告、会計報告など
を承認し、新年度の活動と予算な
どを決め、新役員を選出したあと
春の囲碁大会を開催しました。
(新しい役員)

- 会長 高木 哲雄(四分會)
- 事務局長 猿渡 章博(六分會)
- 次長 沖 克太郎(五分會)

浦川さんの古稀を祝う

奥田 八二
(福岡県知事)

浦川さんが四つの記念を一回
を指摘しておきます。一つは、
昭和三十一年に私が『みいけ十
年』の編集に携わった時のこと。
浦川さん(ご)は、いまも
三池炭鉱労組の役員、県議会議
員としての活躍に誇りをもち、
ない者はありません。県議引
退後も日本山学園、中小商工協
会でご活躍されておられ、敬服
いたします。

『人生切抜帳』を出版

元書記長・泉議の浦川さん

三池労組の結成に参画し、書
歴任し、昭和三十年から七期二
記長や九州炭労副委員長などを
十八年間にわたって福岡県議を



葦書房刊。B5判。120頁。
お問い合わせは浦川さん宅
(0944-51-1001)

務め、退任後も四人墓地保存会
の会長をはじめ多方面の活動に
たずさわってこられた浦川さん
(七十一歳)は、大牟田市鳥塚
町の三池がユニークな自分史
『人生切抜帳』をこのほど出版
されました。この本は、県議生
活の回顧録ですが、見る要素を
多く盛り込み「できるだけ短ら
かにも」という浦川さんの
思いがこめられています。題字
は奥田知事の揮毫。B5版。
百二十ページ。別に『人生切抜
帳に寄せて』がついています。
非売品ですが、希望者には二千
円でおわけします。